



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第31号

イラスト © あべまりあ

発行所
天使のほほえみ
発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

理事長挨拶

元朝を迎えて 当会の運動を思う

理事長 鎌田久子



本年の八月十五日、日本は大東亜戦争終結七十周年を迎えます。激戦地で多くの軍人を失い、本土では東京・長崎・広島で、約三十万以上の同朋が殺戮された日本。

穏やかに迎えた元朝、私は、昭和天皇がマッカーサーに会見され、「自分のお生命と皇室財産目録を差し出され、
「このたびの戦争は、私の意志で行われたのであって、一切の責任は私にある。
どうか家屋を焼かれ、食料を失った罪のない国民を助けて戴きたい。」と申し出られた事が浮かんできて、ふいに涙がぬぐつてもぬぐつても溢れて止まらなくなってしまうました。

万世一系、百二十五代の今上陛下を戴く日本に生まれさせて戴いていることが、ひたすら有り難くて、
「先祖様有り難うございます。父よ、母よ、有り難うございます。『天使のほほえみ』の運動にこ活躍下さる皆様、ありがとうございます。」

本年も、生かされているこの内在の活力をもっと存分に発揮させて戴き、使命達成に邁進させて戴きます。」と、
全ての英霊と中絶児に向け、誓いを新たにしております。
民間の日本創生会議の発表によれば、「二〇四〇年には896の都市が消える恐れがある」と言います
また政府の経済財政諮問会議の中間報告では、「五〇年後の日本は、人口が八七〇〇万人に減少する」と警鐘を鳴らし、「一億人を維持する必要性」を訴えています。
我々の今後の運動の課題として、
(1)家庭科教科書に「独身の勧め」が載っており、それによる「未婚化」が少子化の大きな一因になっています。(産経新聞126.9.18、高橋史朗先生)その是正を急ぎたいと思います。
(2)女性の真の幸福と使命は、「よい家庭を育み、生かされてくる生命をいとおしみ、国家と同胞の発展に尽くすこと」にあります。これを推進したいと思っております。
皆様の「活躍」と「多幸」を祈念しております。 △

平成27年5月

総会・記念研修会

平成二十七年の天使のほほえみ総会、記念研修会を左記の通り開催致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 5月24日(日)

総会 13:00 ~ 13:20

研修会 14:00 ~ 16:30

場所 代々木

国立オリンピック記念

青少年総合センター

センター棟 405研修室

総会 昨年度報告

今年度計画

その他

研修会

主講師 岡田幹彦先生

日本政策研究センター

主任研究員

副講師 鎌田久子理事長

テーマ

「人のいのち 国のいのち」

— 世界に輝く日本文化 —

吉田松陰と生命尊重

今回の総会記念研修会には、全国を回られている、岡田幹彦先生に講師をお願いしました。先生は、吉田松陰や西郷隆盛を始め歴史上

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 2千円以上
賛助会員 5千円以上
篤志会員 1万円以上
法人 一口 5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)



青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

の人物を研究され、その人の業績や人物、行動、エピソードなどを、熱く熱誠をもって講話されます。先生は、私共の目的であります生命尊重、中絶防止、性道德の正常化についても、高い見地からお話し頂く予定にしております。是非、ご参加下さい
詳細は同封の案内チラシをご参照下さい。 ◇

「人のいのち 国のいのち」

—— 魁れ 日本精神 ——

鈴木信行 先生 維新政党新風 代表

平成26年11月24日 ご講演 文責 野田滋美

【少子化の中短期の解決策】

私は中絶問題を訴える時、移民問題の結論として訴えています。先の参議院選挙に出馬した時も、政見放送の最後に「中絶違法化」を訴えました。私は「少子化の根本的な解決は、若者を早く結婚をさせ、幸せな家庭がいっぱい増えれば、当然お子さんが沢山生まれる」。それが最大の解決策だと思えます。

しかし結論がでるまで時間がかかる。中短期の解決策としての「中絶の違法化」が、私は最も今やらなければいけない事だと考えております。

【移民反対 脱法移民進行】

今私が特に取り組んでいるのは、「移民反対」です。しかし現実にはもう「脱法移民」により移民政策は進行しています。それは、移民の定義は、「日本で外国人が定住して働いて、家族も呼んで、子供も育てる」という事ですから、既に進んでいますよね。

在日韓国、朝鮮人よりも、いわゆるチャイニーズ、中国人のほうが多くなっている。現実には脱法移民が進んでいるという認識を私は持っています。

その中で、少子化が問題であれば、この中絶問題を語らずに移民問題を語ってはいけないと思っています。そして、その後、後に解決策として中絶の違法化を訴えています。

【今活動している事】

世の中を変える手段として、啓蒙活動して言葉をかけて、影響を与えて行くという手法があります。その方法も大事と思えます。私はさらに、選挙を通して世の中を変えようと思っています。選挙で自分たちの政治勢力を作って、議会に進出して日本を変えたいと思っています。

私はこの他にも、「靖國神社清掃奉仕団」を組織しています。全国から集まって頂くのですが、年4回(1回ごと)と清掃奉仕

団をやっております。

また、「大洋(だいよう)社」というアジアの連帯を目指す組織も立ち上げまして、今年7月と10月の二回、「海洋アジアの絆」というASEAN 諸国とのフェスティバルを行って来ました。中韓以外のアジア諸国は皆親日なんです。それらの国々と友好は深めるためのものです。

ASEAN 諸国ははじめ海洋国家との連帯が重要です。ブルネイ、ミャンマー、インドネシア、ベトナム、台湾の人達も、フェスティバルに参加頂いている。私は諸外国の人達に、「日本の法律、ルールを守ってくれるなら日本で技術を研修して、日本で学んでもらうて大いに結構だ」と思っています。

日本はやはり集団的自衛権を認すべきたと思えますが、やはり制約が必要と思えます。私は大陸や半島に深入りする事は、国益に反すると思えます。どこに歯止めをかけるかと言ったら、やはり「海洋国家として生きる」という所ですね。その代わり、「海に出て来るシナとは対決も辞せず」という事です。「大陸や半島からの軍事国家に対しては、海岸線の内側に押し返す政策をとるべきだ」と私は思います。

【韓国から杭テロリストと】

ご紹介頂いた様に、確かに私は韓国から入国禁止措置を頂いています。実は私だけではなくて、我が党の村田春樹さんはじめ4人が入国禁止措置、今年の6月には韓国から私に逮捕状が出まして。(エーっと驚きの声)

私は韓国から、慰安婦像をバカにしたという積りは無いですが、名誉毀損で訴えられています。逮捕状も無いのに、そういう刑事裁判がもう進んでいます。それから、ユンボンギル(尹奉吉)という日本の白川大将を爆殺して重光葵さんの足をすっ飛ばしたテロリストです。あのユンボンギルのことを「爆弾テロリスト」と言ったら死者名誉毀損で、これも起訴されました。実刑にするとしたら最高刑が7年ですから、2つ合わせますと私は14年刑務所に行くんですかね。そういう裁判が被告人不在で始まっている国なんです。

実は裁判が始まって、判決が延期になって、判決できない状況になつてから逮捕状が来て、私は今年の6月30日に、晴れて指名手配を頂きました。(爆笑) 私は、日本の法務大臣に出頭しろと言われたら逃げ回る事はできませんから出頭しますよ。でも、

韓国の裁判所に、「一寸来い。入国禁止は解除するから来い。」と言われても、大きなお世話ですよ。(笑) 行く必要ないですから。

私は何か悪い事をしたという罪悪感を全く持っていないからね。(拍手)慰安婦像を壊したわけでもない。あそこに、「竹島は日本の領土」という杭を縛り付けて来たんです。それに対してあちらがカンカンに怒ってね、日本と韓国との間の条約が一つふつ飛んじやりました。締結10分前にあちらから、反日感情が盛り上がった時だったんで、締結出来なかつたんですね。そういう意味では韓国政府は、赤っ恥をかかされたかも知れないですけども、日本にとつて、「北朝鮮や中国に軍事情報が流れる」、そういう危険性がある条約でしたから、私はそれがふつ飛んで国家に貢献したと思つています。(大拍手)

そういう活動をしている私が韓国では「杭テロリスト」とか、日本国内では「ヘイトスピーチ、差別主義者」というような罵声を浴びせられます。



【親日国の外国人へ支援を】

外国人のお子さんの母国語研
修にも、私は予算を付けるべき
だと思えます。なぜかと言っと
あるベトナム二世の方がいて、
その方は日本語がうまくできな
い。お子さんは日本の小学校で
日本語ができる様になるので、
ベトナム語ができないお子さん
との間に親子の会話がスムーズ
に出来ないんです。日本は、国
によつてはそういうお子さんの
母国語の研修に予算をつけてま
す。でも、中々進まないのが現
状です。

しかし、移民を反対している
鈴木が、外国人の労働者受け入
れになぜそんなに協力的になる
のかと言っと、一見相反する活
動をしている様に見えますが、
その鍵になるものは「日本に
とつてプラスになるかマイナス
になるか」です。「日本の国の文
化を壊すような人が入つて来る
事に関しては断平として反対し
て、国籍を剥奪するような法律
を立法化すべきだ」と思ってい
ます。(拍手)

【戦後体制打破へ向けて】

私達は「戦後体制打破」とい
うものを訴えて参議院選挙にチ

ヤレンジしております。そして
日本の国際社会での権利という
ものを目指して、真の日本の回
復を目指したいと思つていま
す。そのためにも、占領基本法
である「現憲法を破棄」しなけ
ればならないし、鎌田先生のよ
うに「明治憲法に復元」する。
新風では新たな「第二次憲法私
案」を作つてますが、今の国柄
にあつた憲法にしたいと考えて
います。

その中で、やはり占領政策の
一環である「母体保護法」は改
正しなければならぬ。それは
中絶問題だけではなく、占領
政策を払拭するという意味で
も、私は重要だと思つていま

【少子化と姦通罪は密接な関係】

そして、「堕胎」についてです
が、本来堕胎というのは犯罪で
す。これは、懲役刑まである犯
罪です。しかし、戦前は国民優
性法により、いわゆる遺伝性の
疾患の増加を防ぐために優生保
護を目的として堕胎が認められ
てました。しかし現状のよう
な非常に安易な、簡単な堕胎など
は出来ませんでした。

戦前は、家の血統を乱さない
ために「姦通罪」というものが
ありました。女性と相手方両方

が罰せられる。この姦通罪は実は
少子化と非常に密接な関係があ
ります。

初めて姦通罪を作つたのは初
代ローマ皇帝のアウグストウス
であると言われています。カエサ
ルの息子ですが、カエサルが殺さ
れた後、政権を取つて皇帝の座に
ついてエジプトを攻めて平定し
た後、非常に文明だけが進んだ国
になつて、少子化の問題が出て来
た。世の中も乱れたのでしよう。
そこで姦通罪を作つています。

日本でも女性が家庭に収まっ
ている時代には、みだりに不倫な
どは無かつたのですが、GHQに
よつて昭和22年10月に、男女
平等に反するということで、この
「姦通罪を廃止」しました。

【GHQの目的は日本破壊】

GHQの目的というのは、もち
ろん日本の国体破壊、又、国家だ
けではなく家族制度、家長制度、
家督制度も民法改正によつて破
壊するという意図があります。

そして、日本人の道徳も破壊さ
れ、日本人自身の堕落と言いま
すか、道徳・性道徳の破壊、家族意
識の破壊というものが進んで行
きました。GHQの兵士が慰安婦
を含めて、日本女性を強姦や、性
処理の慰み者にして、性道徳を破

壊していきました。その人達との
間にできた子供の問題が出てきま
すが、厳しい言論統制を敷いて、
日本国民には一切伝えさせません
でした。

エリザベスサンダース・ホーム
(大磯)に行きますと、今でもあ
の周辺に住んでいる方の中には、
やはり外国人とのハーフのお爺さ
んたちがいます。喫茶店の店主の
人とか、最初にあそこに来た人
でした。そういう方たちがホームに
引き取られたわけです。

GHQは日本の人口を減らすと
いう事も考えていました。それで、
優生保護法というのが占領期に制
定されました。その時、外国から
非難の声が上がりました。「日本は
恥ずかしい国だ。中絶が合法化さ
れるという事は、人の命を軽んじ
る国になつた」と。

【堕胎する権利は有るか】

私は今日の講演の依頼を頂いた
時に、「権利」という事について考
えました。「権利」って何だろう。
中絶は女性の権利でしょうか？そ
んなものは有るのでしょうか？
でも、「有る」という人達もいます。

「女性には堕胎する権利がある」
と。しかし本当にそんな権利が有
るのでしょうか。
「権利」をネットで検索すると、

「人間の生活関係において各人
に帰属すべき利益を保護するた
め、法が各人に与えた利益を主
張しうる力」と書いてあります。
私は「権利」というのは、正義を
根拠に存在する」と思います。
正しい事を行うから主張でき
る。正しくない事は、その権利
なんか無いんです。「私は正しい
事をするから、あなたたちよつと
そこをどきなさい」と人に言え
る訳です。不正な行為に権利な
んで有りません。

働いて家を買つと所有権がも
らえます。でもローンが滞つて
しまつと銀行が、「もうあなたダ
メですよ。この家出て行つて下
さい。これ売つて、残りを返し
なさい」となります。「ここは俺
が住みたいから、俺の家だから」
つて主張できないんですね。そ
こで正しくない事が起きてしま
う。

【援助交際は売春 違法行為】



これもうちよつと、下世話な
話で「援助交際」に例えます。
援助交際って言葉自体がおかし
いと思えます。慰安婦と同じで、
売春ですよ。

でもその「売春」を「援助交際」と言って、何故かオブラートで包んでいる。その援助交際を咎めたテレビ番組も有ったんですが、そこに出ていた10代の若い女の子が、「誰にも迷惑をかけてないじゃない、私の勝手でしょ」。要は自分の体を自由にする権利を主張する訳ですよ。

人間、自分の体を自由にする権利はありますよ。しかし、援助交際で「私の体を売りものにして、あなたに迷惑かけてないんだから良いでしょう」と。

これが通ったら慰安婦だと主張して韓国から5万人の売春婦が日本に来ていと言われてますけど、彼女たちの商売を認めなければなりませんね。

でも売春は違法行為です。正しくない事に権利なんか無いんです。そういうものにはね、「バカなことを言うな、売春は違法だ。不正には権利なんか無いんだ」と、はっきり大人は言っちゃらなければいけない。(拍手)

これが権利ですよ。正しくない事には強い力は生まれませんよ。

【墮胎は刑法の犯罪】

本題に戻りますが、「親は子供を殺す権利はあるか」、女性は

中絶する権利はあるでしょうか。ここが、中絶に反対する私や皆さんと、中絶する権利が有ると言う人達と、将にぶつかる所です。

でも、「墮胎」というのは「犯罪」です。墮胎は犯罪であるにもかかわらず、母体保護法により許されている。しかも、医療費控除の対象になっているって言うのは、本心に日本の国はおかしいです。一方では犯罪じゃないですか。中絶した人殺しの罪悪をそのまま放置して、しかも保護している。一体、今の日本人の精神構造はどうなっているのかと、私は本当に心配に思います。

墮胎の数は戦後、昭和20年代では、年間届出100万人以上ですよね。実際にはその数倍と言われます。現在でいうと公表20万人台ですが、その数倍は中絶して、戦後、鎌田先生のお書きになった本の中でも、1億人以上の胎児の命が失われていると言われております。



でも、妊娠した女性で「自分の体をどうするかを自己決定する権利がある」という人達とは、この母体保護法とは逆に将来「胎児保護法」というのを作って対決

しなければならぬと思います。(拍手)

だって、このお腹の中にある命にも、言葉は発しないけれども「命」です。その命を殺して平気でいられる人って私じゃないと思うんです。だから水子供養が出て来るんじゃないですか。

【経済的理由】が一番の元凶】

「母体保護法」は適応規制型と考えます。一つは、「母性保護」。お母さんの体の保護。もう一つは、「子供の障害」。これは今ありません。それから「強姦」、これよく反応される事です。社会的適用として、「多産」。これは40代の方の中絶が多いところ。それから、社会的適用の最たるものが、「貧困、経済的理由」や「保育が困難だから」という事があります。

こういう要因が重ね合っていて、今のような拡大解釈が許されている現状になっています。いわゆる法律の規定する範囲をはるかに超えて、人工妊娠中絶は行われています。そして、刑法の墮胎罪は全く機能していません。空文化しています。今の「母体保護法」の「経済的理由」という、これが拡大解釈のいちばんの元凶なので、私共新風の政策集の中でも「経済的理由の削除」を訴えています。

【経済的理由】の厳格な審査を】

まず最初にやるべき事はこれです。墮胎をするのに今のようにならなく、もっとハードルを上げると言う事です。「経済的理由」という事でしたら、両親に「源泉徴収票をもってきなさい」とか言って、赤ちゃんを生かすという事が重要だと思つ。「経済的理由」では認めない」と言う事が本来あるべき姿だと思つ。

【少子化の根本対策は「早婚】】

「少子化問題」の原因として「人口減少」「出生率の低下」を考えてみます。皆さんもお気づきのことと思いますが、「女性の高学歴化」によって引き起こされた「晩婚」あるいは「未婚」がその理由の一つになってます。実際に経済的理由で中絶する人は、四十代が非常に多いが、それも晩婚化で産児調整するためが多い。母体保護法で認められているために、そういう判断をする人が出てしまっています。ですから「人口減少対策」としての「中絶違法化」は、中短期施策としては非常に有効だと私は思っています。

長期的には「早婚」が解決策

であると思つています。既婚者に限つて言えば、日本の出生率は2人以上維持しています。一番の問題は、「結婚していない人が沢山いる」と言う事です。しかし、若い子に「結婚させたい」と思つて、若い党員に言つても、「いや、いいですよ。面倒くさいし。」「一人の方が気楽だし。」とか言うのが現状です。

中短期ではこの「中絶の違法化」が即効性のある解決策だと思つています。ただ「中絶反対」と唱えると、「じゃ、レイプはどうするの」と聞かれる。レイプで精神的に追い込まれて自殺未遂した人は沢山います。しかし私は「産んで欲しいな」と思つています。

【殺すより捨てる】の意味】

先日、大阪で8kgしかない3歳の幼児が保護されました。本当は倍なくてはいけません。親によつて虐待される子供の事件を見ると、本当に悲しくなります。

私はブログのタイトルに「殺すより捨てる」と付けて、いつも書くのです。しかし日本人の心理として、「他人に迷惑を掛けたくない」と思つてしまう。

例えば、産んだ子供はエリザベスサンダース・ホームに持つ

て行ったり、熊本の蓮田先生の「赤ちゃんポスト」に持って行く事になると、「他人に迷惑を掛けるくらいなら産まない。その前に殺す。」という心理が働く。

欧米の人の方がもつとドライで、生命を大切にします。「他人に迷惑をかけてるのではなくて、社会に出して、捨ててしまおう」というような心理が働くのだと思うのです。

【施設育ちの人は全て不幸か】

ここで私たちは真剣に、「施設に育った人たちは、みな悲劇の主人公なのか」と考えなくてはなりません

私はボクシングが好きでよく見に行くのですが、チャンピオンだったボクサーに聞きました。その人はチャンピオンになつたら母親が現れた。有名になると良くそういう事がある。その人の心理としては、「何を今さら」と思ってしまう。万一あの母親が死んでも、多分涙が出ないだろう。しかし学園の先生が死んだら、多分涙が出るだろう。拒絶している訳ではないが、実の母親は自分を育てていない。しかし学園の先生たちには、今でも愛情を注がれた事を忘れていない。

あのエリザベスサンダース・ホームの沢田先生は、三菱の岩崎家の娘さんだからお金を持っていた。あの近くの喫茶店を経営しているおじさんは初期のサンダースホームの生徒さんで、「子供の頃淋しかったか？」と聞くと、「淋しくない訳はない。でも、そこには学校もあり、学校の環境が整っている施設だった」。

東京オリピックや大阪万博の時、「みなさん、新幹線に乗りたい?」「乗りたい」「じゃ新幹線に乗って出かけましょう」と言つて、お金があつたから、そういう事をしてくれたと言つていました。

それは「淋しい気持ちをさせたくない」という心から来ているのでしよう。この世に生まれてからこそ、新幹線にも乗れたし、外国にも連れて行つてもらえたし、両親はいなかったけどそういう楽しい子供時代を送れた。何より、大人になつたら、喫茶店を経営してやつてこられた。もし墮胎されていたら、その人の人生は無い訳です。だから私は、人を殺していい権利、胎児を殺していい権利など、誰にもないと思います。(拍手)

【レイプされた人の苦しみ】

又、レイプで苦しんだ家庭を私は知っています。五年間壮絶でした。救急車がしょつちゅう来ていた。何をするかと言うとリストカットです。

その人は五年間リストカットしましたが、その時の子供を産みました。今は中学生です。立派に一人で育てて、その後再婚して再婚した後も自殺未遂を繰り返していた。でも次に子供を身籠つた時に、勇気をもって産んだら、パタツと無くなりました。今では三人目も生まれて、非常に幸せになつて居るのです。

1人目をもし中絶して、ただリストカットだけして精神的に追い詰められていたら、どうなつていたか分からないです。家族が五年間も眠れないですから。私はその話を聞くだけで壮絶だと思つていました。でも今は中学生をはじめとする三人の子持ちで、幸せになつています。墮した子がどんな幸せになるか誰にも分かりません。私は子供を産んだら、必ず幸せになると信じています。



【愛情を持って育てる】

育ちのよい子供って、何もお金持ちの子供でも、いい教育を与えられて居る子供でもなく、たとえお金のない貧乏な家でも、「親の愛情を一身に受けている人は、育ちの良い子供だ」と思います。よく虐待を受けた子供はまた虐待をすると言います。しかし、その後、子供を「可愛い、可愛い」と育てれば、その子供もやはり同じ事を繰り返すと思います。ですから親がいなくとも、周りの人が愛情を持ってその子を包んでいけば、私は幸せな家庭が日本中に溢れていくと思います。

墮胎は絶対なくしたいと思えます。もちろん母体保護法を改正するというのは、特別養子制度や、そういう施設の充実が求められる。ただ法改正しただけでは、こういう事は実現できません。暖かく包んでくれる養護施設も必要でしょうし、特別養子制度もつと現実的に即したようなものにした。養子の時期も「6歳まで」とか限らずにできる様にする事が望ましいと考えます。

次号「移民問題」へ続く

「いのちへ」より
にしだひとみさん
かぞえうた

毎日 思い出の足し算
毎日 は さよならの引き算

ひとつ 「おはよう」と言うことは
ひとつ 「おはよう」を手放すこと
ひとつ 「おはよう」に近づいていく
ひとつ 「おはよう」を言うたびに
ひとつ 「おはよう」を言うたびに
ひとつ 「おはよう」を言うたびに

何回目か もうわからないけど
きょうも 言えてよかった
あなたに 言えてよかった

日本を想う徒然のエッセイ
今啓パール 今井啓介社長

■清水寺平成の大改修
本堂に168本、高さ12層の柱で舞台を支えている。痛んだ根本30〜90センチ切り取り、他の木と差し替える「根継」がされている。

古社寺集中する京都府は視線を400年先を讀んで植林。京都左京区の花背に山林を購入し、ケヤキ、ヒノキを植林。1200年の歴史の一点、400年がかりの植林。

宮大工、山林業者の苦勞あつての清水寺平成大改修の一頁。

ありがたい国・日本

平井良明 先生

平成26年11月24日ご発表

日本未来の会 代表

文責 野田滋美

私は徳島市で「日本未来の会」を立ち上げて、毎月1回学習会をしています。

この活動の根本に『日本を肯定する。日本は良い国だと無条件で肯定する。』という信仰に近い考え方を置きます。皇室の尊敬と日本の文化と伝統の尊重です。日本の文化は神道と仏教と武士道です。これによって自らを鍛え、我が民族があつた横暴なヨーロッパ文明に明治以降立ち向かい、本当に大きな世界的貢献をなしました。学習と活動の内容としては、『日本の肯定的歴史観』『憲法改正』、天使のほほえみの目的の『母体保護法の改正』等々を始めとして日本にかかわる基本的もしくは現象的な課題も取り入れています。

直近の学習会では「大東亜戦争で果たした日本の世界への貢献」を取り上げました。イギリス人ヘンリー・S・ストークス氏の『連合国戦争史観の虚妄』（祥伝社新書）が大いに参考になりました。氏は「イギリスはフランスと戦い、インドを250

年も植民地にして、インド人が作ったものを搾取してイギリスに持ち帰って生活するのが当然だった。オランダはあんな小さな国でも豊かにやれたのは、全部インドネシアからの強奪です。そういうシステムを白人種は作っていた。それが日本の一撃で一夜にして消えた。この事をヨーロッパ人が日本に対してどれほど恨みを持っているか、あなた方は忘れていませんか。」と言っています。

私は中学生の時、「幕末期、世界中で有色人種の独立国家は、エチオピアとタイと中国と日本の4ヶ国だけだった。」と教えられました。それが現在こんな独立国が多くなったのは、明治以後の日本の努力と、直接的には大東亜戦争が無かつたら絶対あり得なかつた事です。もし日本の活動がなかつたら、現在でも少数の白人国家が地球全体を我が物として支配していたと思います。

この事実を学校教育で教える必要があります。ある時女子高

在校生に「日本は世界にすごい貢献をしたんだぞ。今国連加盟国は200ヶ国以上あるが、明治維新の当時は有色人種の独立国は4ヶ国しかなかった。それ以外の有色人種の国は白人の植民地だった。それらの国が独立できたのには日本の努力があつたからなのだ。」と言ったら、「本当ですか、それ！」と顔を上気させ、「もっと話して！」と言いました。高校生は本当の歴史や真実を待っているのです。

あの大東亜戦争の最中に、日本人がインドネシアでどのような軍事的・文化的貢献をしたかについて触れます。日本人と共に戦い、独立・建国に尽力した幹部が言っている事です。

昭和17年1月、今村中将率いる5万の軍隊が10日間でオランダ軍を排除しました。その後日本は何をしたでしょうか。

- ①小学校を作り普通の学習と共にインドネシアの歴史を教えた。
- ②言語の統一を素早くやった。インドネシアは島も多く、宗教・言語・人種が多種多様であり、国家としての纏まりを持たせるため、バラバラだった言語を統一した。
- ③オランダ語を廃止した。
- ④日本語も教えたが、それは軍事教練用のものに止めた。

⑤県知事等の行政の長には現地優秀な人を配置。日本人は次長にとどまり、一生懸命行政の在り方を教えた。

⑥国家統一のために報国団を作り報国の意識を植えた。

⑦青年道場で優秀な青年80人に軍事教練を一年間徹底して施した。次の年には彼らが教官になって後輩を訓練して、祖国防衛義勇軍「ペタ」を設立した。80万の軍隊がわずか4年でできた。こういう壮大な構想でインドネシア人を育てた。

⑧日本の農業学者を連れて来て、どんな植物をどう育てたらインドネシアのために利益が上がるかを研究させた。

⑨宗教の違いによって争う事を禁じた。

以上によってインドネシアの国の基本ができたのです。

昭和20年8月日本敗戦。しかし、ほぼ2千人の日本人はインドネシアに残り、自分が育てた若者と一緒に英・蘭と足かけ6年に及ぶ戦争を戦い、半数は戦死し、独立を勝ち取るのに尽力した。「八紘一宇」の理念の発露でした。



同時に日本は太平洋の海や島々でも戦い続けていました。圧倒的な物量を誇るアメリカ軍との死闘、特攻、バンザイ突撃、玉砕と、降伏もせず戦い続けました。太平洋を取り巻く国の人達はじっと見ていた。有色人種の中で日本のみが独立を守つた理由がどこにあるかを。多くの日本兵が死んで行きましたが、決して、無駄死にはなかつた。世界中の有色人種が、どうすれば「独立」できるか、「独立」に何が必要かを学んだのです。それが東南アジアを始め、全世界に波及し、すべて民族の独立が実現したのです。

一方、インドのインパール攻略作戦では、日本軍10万、シンガポール陥落でチャンドラ・ボーズの指揮下に入ったインド兵3万が共に戦い、惨敗します。インド軍は2割くらい負傷するとすぐ白旗を上げて降伏しました。しかし、日本軍は「白骨街道」と言われるぐらいの戦死者が出て戦い続けました。それを見た英軍将校は「戦争は勝たないといけないな。」とつぶやきますが、インド軍は「我々はイギリスに何百年と支配されて来た。日本人を見る。他国の解放のためにこれだけ自分の命を投げ出している。我々は

この百年何をしていたのだ。」と皆強烈に思いました。日本軍の戦いをちゃんと見ていた。

大戦後、チャンドラ・ボーズと一緒にインド軍を指揮していた幹部が英国の軍事法廷にかけられ、絞首刑が決まった途端に、インパール作戦に参加した人達が

大暴動を起こし、手が付けられなくなつて行つた。日本嫌いのガンジーも動き、ネルーと共に立ち上がり、遂にインドの独立が達成されます。「インドの独立は、ガンジー等の非暴力の独立運動によるよりも、日本軍とチャンドラ・ボーズ率いるインド国民軍が協同して行なつたインパール作戦に依つてもたらされた。」空に太陽が輝き、月があるかぎり、インドは日本に対する恩義は忘れない。」と言う人もいます。昭和天皇の死に際してインドとキューバが国を上げて喪に服してくれています。

この様な日本の努力は、台湾・朝鮮・満州・中国そして東南アジア等々日本人が行く処どこでも行われました。そして戦前は、「白人を神」と思っていた世界の有色人種が、黄色も黒も白もすべて対等な人間である事を自覚したのです。地球規模での意識変革の大きさから言え

ば、大東亜戦争に匹敵する偉大な戦争はありません。真に全人類に貢献したのです。戦後もアジア諸国に日本は技術と資本と労働の作法、更に生活の在り方も輸出し、教え続けました。

しかし、1970年代に入つてから日本はおかしくなつてきた。あれだけの荒廃の中から蘇つたのは、『戦争には負けはしたが、経済では負けない。』という緊張と努力の賜物でした。しかし、アメリカの日本解体を主眼とする占領政策やマスコミ支配も功を奏し、日本の戦争や歴史を犯罪視する風潮の中で、自分を見失い始めたのです。又、「敗軍の将、勇を語らず」で、多くの日本人が戦争中の事実を語らなかつた事も原因です。

しかし、これだけ偉大な業績を築いた先輩の意識・考え方を伝承せず、経済的な豊かな生活のみで満足してきた我々現在70歳代の責任でもありません。歴史の断絶どころか、偉大なる歴史の喪失現象まで起きています。日本人は本来の日本人の持つエネルギーや抛り所を失いつつあります。再度言います。1868年か

ら1968年までの100年間には、世界史の中にどんなに書いても書き切れない程、我々日本人は偉大な業績を残したのです。天皇陛下がオランダへ行かれた時、卵をぶつけられました。彼等は絶対に我々を許していません。我々は忘れっぽい民族ですが、彼等はたつぷりと旨みを味わつた菜園が、一瞬にして日本に奪い去られた事は忘れていません。こういう過去の事実を踏まえて、我々は我が民族が生き延びる事を考える必要があります。更に世界制覇を夢見る欧米人は二度と日本がアジアを初めとする有色人種の側に立たせない事を今も念頭に置いています。白人は第二次世界大戦を起して、有色人種を減らす戦略を練つていくと推測します。

その具体的な現象の一つが世界的な格差社会の実現です。決して格差社会は偶然ではありません。世界には白人を中心とした世界統一・世界制覇の実現をめざす底流があります。日本を心配するには、この底流を常に念頭に置かなければなりません。最後に日本の神道に触れたいと思ひます。神道はものすごい

です。中央大学名誉教授木田元氏が『反哲学入門』で書かれています。「ヨーロッパ文明の大きな特徴には『超自然』の概念がある。自然を超えたものが存在して、人間や自然や動物・植物の全てを「つくる」文化である。エホバの神が全てをつくつたと言ひ「つくる」文化だ。それに對し、日本の文化は「成れる」文化である。」と。

古事記では神々も「成れる」存在です。まず本源神の「成れる」天津国から八百万の神の顯す宇宙や地球や自然ができて、そこに全てが生まれて来て、また「無」に帰って行きます。皆神から生まれた人間も草花も動物も一緒です。ここに「神人一体」「万物同根」という言葉も出てきます。この認識が宇宙の素材で真実である捉え方です。

「つくる」側の文化では、つくつた者をつくられた者の間には絶対的な隔たりがあります。人は神には絶対になる事ができません。これはキリスト教始め一神教に共通する所です。二元論です。キリスト教での自然科学は、人間が自然を支配して、人間の思うように物を作る事ができると思っています。これがヨーロッパ文明の骨髄です。

日本人は「成れる」神々をいただし、自然に生まれて自然に還る。ですから必ずしも「今一瞬」を生きている事、また活かされている事に感謝します。これを根底として、宇宙の原理を我々の日常生活の原則として文化を築いてきました。絶対に自然を冒したり乱暴に扱つ事はできません。地球の環境問題も、このまま炭酸ガス排出や自然破壊をして行けば地球は元に戻らなくなると言われています。自然破壊を収めるのは「成れる」文化でなければならぬと考えます。

私は、欧米の「つくる」文明から、早く日本の「成れる」文化に世界を転換しないといけないと思つています。神と人、創造者と被創造者、善と悪等々の「二元論」。我々は人類に害悪をもたらす「二元論」を超越しなければなりません。我々日本の本来の文化には「二元論」は存在しません。その証が「我々は動物にも花にも、木々も石にさえも人間に對するのと同じ感情と意識を通わせる。」所にあります。自然破壊はともできなないので、『静けさや岩にしみ入る蟬の声』(芭蕉)。

ですから日本の国は大変有り難いのです。△

△

「魅れ 日本の心」

山口文弘 理事

〔江戸時代の教育の実態〕

現代の日本人は稍もすれば、教育の発展は明治の文面開花によって、欧米教育を模倣してからであろうと思っている人が多し。しかし実際は違っている。確かに明治政府は、西欧諸国の教育制度を取り入れて、速やかに学制を設け施設を調べ、教育の義務化を実施して、国民皆教育、西洋的科目の充実の実施に努力しました。

明治時代は江戸三百年の鎖国によって、西欧文明に遅れている国力に目覚め、富国強兵を目標に産業の発展と教育振興に取り組みました。さればとて日本の教育が、明治になって確立したと考えるのは早計です。

江戸時代は色々な意味で、歴史的に特筆すべき時代です。その中で教育の充実と発展は、江戸時代の「人づくり」となり、明治以降の日本の発展と国運の原動力となりました。

江戸時代は武士もちろん庶民に至るまで教育が浸透し、全国各地に優れた学者が傑出しました。三万の寺子屋あり、郷学あり、藩校あり、幕府直轄の昌平坂学問所他あり、同時代の欧米諸国と比べ、遙かに教育が徹底し、浸透していた事は世界教育史が語る事実です。

左翼、日教組の一部は、江戸時代は封建社会で非人間的時代だったと吹聴しますが、それは歴史の偏見であります。△

「ありがどうの音色を響かせて」

高橋「すえさん

信

信じることを忘れた心は次々 不安に襲われます

信じる事から初めてみませんか 自分を人々

これから進む道を

それには

自分を生かしている 大いなる力を信頼して

その力に任せざる 大いなるものに自分を委ねる

そこからの出発なのです



活動報告

○地元への母体保護法改正チラシ、子宮頸がんワクチンの危険性チラシ、憲法改正チラシ等の配布を、ほぼ毎日ポステイングにて実施しています。

○少子化問題につき、高橋史朗

先生の産経でのご文章にあった、家庭科教科書のひどい実態について、チラシにまとめましたので、同封致します。広く撒いて下さい。

○美しい日本の憲法をつくる国民の会の「憲法改正を求める1000万人署名」に賛同し、会員の方々にその署名をお願いする事にします。本来、私共は現憲法破棄、明

会員による「和歌」の紹介

「使命に生きる」

鎌田久子

- ・都議選と衆院選の重なりて 雨降る日々を燃えて過しぬ
- ・腕を吊る三角巾の功名か 見知らぬ人にも投票依頼す
- ・衆院選の行方おほかた定まりて 深夜に熱き緑茶をふくむ
- ・現憲法改正の声上がれども 廃棄の声はいまだ少なし
- ・束の間の脚光あびて生くるより 夜露となりて國潤ほさむ

今岡祐一

「新春歌」

- ・大八洲大和心で奮ひたち 國の柱と勇みすすまむ 新春 讀願
- ・幼な友達後を頼むと散華ゆきし 英霊讃へむ熱き涙で 護国神社
- ・宇宙創造神降臨たまひて現世を 御代美しく円くおさめむ

「高田宮典子妃ご成婚」「二泊研修会」

川久保勲

- ・今日よりはとわの別れの親と娘の 別れの会釈かなしかりけり
- ・いかほどのかなしみや身に積もるらむ 妃の宮の御声なくして
- ・あれほどのやさしき笑顔で包まるる 妃の宮の御心ふかし
- ・親が子の命を奪ふ権利など ありてはならじと語れる男 鈴木代表
- ・世直しの旗を掲げて執る筆に 神の使命を捧ぐる男

治法復元・改正が主張する所ですが、絶対的の岩盤規制となつていいる憲法問題につき、安倍首相の在任期間中に一歩、二歩進める事ができるなら、それは応援するべきと考えました。会員の方には、会報次号に署名用紙をお届けしますので、ご協力をよろしくお願いします。

○天使のほほえみとして、いよいよ「母体保護法改正を求める署名」を、始めたいと考えています。現在、署名用紙の文言の調整をしています。次号の会報には同封できると思いますが、これに就きましても、ご協力をよろしく願います。

今後の行事予定

- ・総会・記念研修会
- 日時 5月24日
- 場所 代々木青春センター
- センター棟405
- 講師 岡田幹彦先生

